

令和7年度 司書教諭等スキルアップセミナー

**「次代を生きる子どもたちを育むために」
～学校図書館は必要ですか～**

前県立長崎図書館(ミライon図書館)館長
池田 浩



学校図書館は必要か

改正学校図書館法から

【改正法令等の趣旨】

- ・学校図書館は**学校教育に欠くことができないもの**
- ・児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援し、教育課程の展開に寄与する**学習情報センターとしての機能**
- ・児童生徒の**自由な読書活動や読書指導の場**
- ・創造力を培い学習に対する興味・関心等呼び起こし豊かな心を育む**読書センターとしての機能**
- ・**学校教育の改革を進めるための中核的な役割**を担うことが期待

【学校図書館法】(H28.4.1施行)

第1条(目的)

学校図書館が、学校教育において欠くことのできない**基礎的な設備**である…学校教育を充実することを目的とする

第3条(設置義務)

学校には、**学校図書館を設けなければならない**

第4条(学校図書館の運営)

学校図書館を**児童又は生徒及び教員**の利用に供する

- 1 図書館資料を収集し、**児童又は生徒及び教員の利用**に供する
- 2 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備
- 3 **読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会**等を
- 4 図書館資料の利用、学校図書館の利用に関し児童生徒に対し指導
- 5 **他の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し及び協力**
- 6 目的を達成するのに支障のない限度において、**一般公衆に利用**させることができる

法の趣旨と現実が乖離していることは・・・

我が校の実態は・・・

- 管理職員及び教職員の意識は・・・
- 学校図書館(室)の実態は・・・
蔵書数、蔵書の質、活用度、図書費等
- 児童生徒の実態は・・・
- AI等デジタル機器と学校図書館の関連は・・・
※言語能力の基盤ができないままに活用?

学校図書館の二極化が進んでいないか!!
必要だとは思うけれど・・・予算化が、時間が、人が

次代を生きる人としての基盤を

教育基本法等法令



学習指導要領



〇〇学校 学校教育目標



学校図書館運営方針・指導計画等

次代を生きる人としての基盤を

【学校教育の役割・責任】

すべての子に
次代を生きる基盤となる力を育て、支える

【学校図書館の役割・責任】

学校教育目標具現化を図るための

- ・学習情報センターとしての機能
- ・豊かな心を育む読書センターとしての機能
- ・学校教育の改革を進めるための中核的な役割

言葉の力(言語能力)の向上なくして
学力向上はない!! 社会性も育たない!!

教育課程と学校図書館

学校教育目標で掲げた子どもを育てる

※保護者、地域住民に示した学校の公約

- 言語・情報等を活用できる力(インターネット、AI等を活用した授業)
- 学ぶ力、つながる力の基盤となる言語能力

次代を生きる児童生徒の基盤となる力(言語能力)の育成に対する危機感・課題等は職員間で共有されているか

【全国学力調査の分析から】

- ・読み取る力、聞き取る力の弱さ…当初からの課題
- ・児童生徒の実態・課題が全職員で共有され、課題解決に向け協働した実践がなされているか。

基盤となる言葉の力の育ち

学ぶ力

言葉の力

つながる力

加速するIT社会(効率さ、便利さの追求)の中で
社会、人とつながり生きていく力の二極化も

長文が読めない
理解できない
言葉と出会えていない

人とつながること苦手
めんどくさい
AIが友達!!

あいさつができる子
できる大人の差も

自分の思い、感情等を
表す言葉・表現
経験が少ない

大人の貧弱な言葉が子へ

SNSでのつながりで十分!!

AIやチャットGTPを学習にうまく使える子って

どんな子？

教育課程と学校図書館

校内で連携した実践は？

- 校内で全職員で取り組めること(図書館で、図書館と、図書館も)
- 求められる学力育成の視点から(基本となる言語の能力)



流れる膨大な情報から真偽を選択し活用する力
(情報処理能力の基盤を育てる)

- 比較的正確な情報(新聞、信頼がおける雑誌等)
- 1枚の絵、書籍等から言葉を紡ぐ活動(自分の言葉で表現)
- etc

学校教育が抱えている課題

家庭、地域との課題共有・連携

信頼関係は・・・

子どもの読書環境と学力の関係

令和5年度 全国学力・学習状況調査から【読書環境と学力格差】

【正答率と自宅にある図書類（読書環境）との相関】

家庭にある本の冊数が多いほど
教科の平均正答率が高い傾向が見られる

子どもの読書環境と学力の関係

令和5年度 全国学力・学習状況調査から【読書環境と学力格差】

【自宅にある図書類（読書環境）との相関】

小学6年 「自宅に0～10冊」(12.6%) 国語57.1 算数50.1
「201～500冊」(11.2%) 国語73.7 算数71.7

(正答率の差) 国語16.6ポイント 算数21.6ポイント

中学3年 「自宅に0～10冊」(11.9%) 国語59.8 数学40.3
「201～500冊」(12.0%) 国語76.5 数学59.4

※小・中学校ともに「500冊以上」より「201～500冊」が正答率高い

(正答率の差) 国語16.7ポイント 数学19.1ポイント

令和4年度「学力調査を活用した課題分析に関する調査研究」

保護者に対する調査の結果を活用した専門的な分析から

国立大学法人お茶の水女子大学

社会経済的に不利な家庭でありながら高学力を達成している児童生徒の
特徴を保護者調査から分析（全国学力・学習状況調査から）

小6

- ①生活習慣(朝食)
- ②自己肯定感（自分には良いところがある）
- ③最後までやり抜く力（書く問題で最後まで解答を書こうと努力）
- ④保護者の特徴:「絵本の読み聞かせ」「学歴期待」
- ⑤ICTの有用性の認識（ICT機器は勉強に役立つ）
- ⑥教科学習の有用性認識（国語の授業社会で役立つ）

中学3年生でも保護者の特徴「絵本の読み聞かせ」「学歴期待」

規則正しい生活習慣、自己肯定感・やり抜く力、
絵本の読み聞かせ経験等が関連している

小・中高校生の暴力行為(R5.10.4 朝日新聞より)

『小・中高校生の暴力行為過去最高9万5千件20年前の2.8倍に』

文部科学省が実施する「児童生徒の問題行動・不登校調査」の2022年度の結果が判明した。前年度から24.8%増え、過去最多となった。近年は増加幅が大きく、20年前の2.8倍になった。

【内訳】 小学校 6万1455件(千人当たり 9.9件)
中学校 2万9699件(" 9.2件)
高校 4272件(" 1.3件)

参考【長崎県】

小学校 247件(千人当たり 3.7件)
中学校 272件(" 8.1件)
高校 21件(" 0.9件)

増加傾向が続いている
なぜだと思いますか？

人や社会とつながるための力

情緒が安定しない小学校児童(暴力的な言動)の増加
※小学生の対教師、児童暴力、器物損壊の増加(低年齢化)
従来の学級経営が成り立たず苦慮する教師

【要因】 言語能力の未発達も???
言語能力の未発達が要因の一つではないかとの指摘も!!



言葉をはぐくむ家庭環境の二極化

家庭で地域で
言葉を刻む場の二極化が広がっていないか？

寄ってたかって学校図書館!!

時代の変化に対応した学校図書館の在り方 ～改正学校図書館法を見直してみる～

- ・公共図書館とつながる(書籍資料・人・サービス)
- ・近隣の学校図書館と連携(蔵書の棲み分け)
- ・校区の幼稚園、保育園教員に学校図書館を開放
- ・デジタル機器と学校図書を活用した学習・授業
※読後の感想とAIを活用した視点の広がり
授業の中で活用(対話の中から自分の言葉を深める)

直接関わらなくても
「啓発」「支援」「助言」等はできる

専門を生かす(職員、保護者、地域住民)

関係する団体等と連携・協働

- ・PTA組織とともに
- ・幼保小連携の仕組み
- ・コミュニティースクールの組織を

次代を生きる我が子(地域の子)を育む力として
見せる、納得させる、それならばと引き出す

個の力は大切だが一人の力はたかがしれている

継続できる組織的な学校図書館経営を
※人の意識を変える 目に見える形で

参考になれば(地域のおじちゃん取り組みから)

学校図書館の課題を共有すると
学校ではできない動きも始まるかも…

でも大切なことは

あわてないこと

目的を忘れないこと

土台を固めつつ進めていく
息切れをしない組織、取組みを進めていく

合言葉は「本気で」「徹底的に」「寄ってたかって」

意識を変え行動に移す(無理をしない)

司書教諭、学校司書の役割

組織を動かすためには

1人を動かす

3人と動く

200人の協力者

静かな熱とあきらめない粘り強さ

おわりに

裏の仕掛人に

～縦につなぐ 横につなぐ 一步を～